# 新型コロナウイルス感染症に対する宮城県対がん協会の対応について

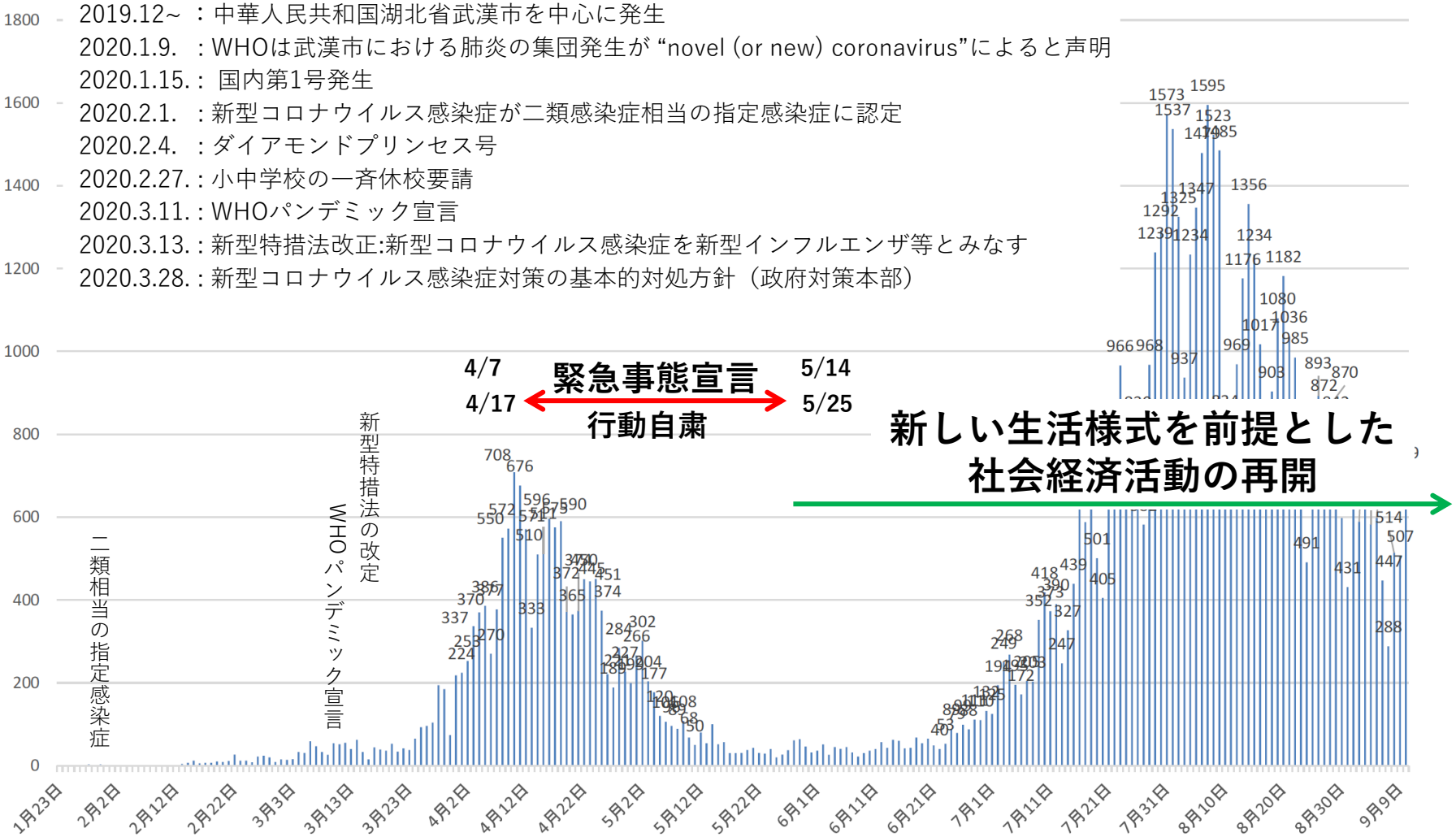
加藤 勝章

公益財団法人宮城県対がん協会　がん検診センター

# 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)とは

COVID-19とは“Corona-Virus Disease”（コロナウイルス疾患）の略称で、19はウイルスが発見された2019年を指す。SARSコロナウイルス2（SARS-CoV-2）がヒトに感染することによって発症する気道感染症、高齢者や基礎疾患のある者は重症化・死亡のリスクが高い。

2019.12~ ：中華人民共和国湖北省武漢市を中心に発生
2020.1.9. ：WHOは武漢市における肺炎の集団発生が “novel (or new) coronavirus”によると声明
2020.1.15.： 国内第1号発生
2020.2.1. ：新型コロナウイルス感染症が二類感染症相当の指定感染症に認定
2020.2.4. ：ダイアモンドプリンセス号
2020.2.27.：小中学校の一斉休校要請
2020.3.11.：WHOパンデミック宣言
2020.3.13.：新型特措法改正:新型コロナウイルス感染症を新型インフルエンザ等とみなす
2020.3.28.：新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針（政府対策本部）




※1　都道府県から数日分まとめて国に報告された場合には、本来の報告日別に過去に遡って計上している。なお、重複事例の有無等の数値の精査を行っている。
※2　5月10日まで報告がなかった東京都の症例については、確定日に報告があったものとして追加した。

https://www.mhlw.go.jp/content/10906000/000670659.pdf

# 新しい生活様式の定着を前提とした社会経済活動の再開

## 「新しい生活様式」の実践例

### （1）一人ひとりの基本的感染対策

**感染防止の３つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い**

□人との間隔は、できるだけ２ｍ（最低１ｍ）空ける。
□会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
□外出時や屋内でも会話をするとき、人との間隔が十分とれない場合は、症状がなくてもマスクを着用する。ただし、夏場は、熱中症に十分注意する。
□家に帰ったらまず手や顔を洗う。
人混みの多い場所に行った後は、できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
□手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）。

※　高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

**移動に関する感染対策**

□感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
□発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。接触確認アプリの活用も。
□地域の感染状況に注意する。

### （2）日常生活を営む上での基本的生活様式

□まめに手洗い・手指消毒　□咳エチケットの徹底
□こまめに換気（エアコン併用で室温を28℃以下に）　□身体的距離の確保
□「３密」の回避（密集、密接、密閉）
□一人ひとりの健康状態に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の理解・実行
□ 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養

### （3）日常生活の各場面別の生活様式

**買い物**
□通販も利用
□１人または少人数ですいた時間に
□電子決済の利用
□計画をたてて素早く済ます
□サンプルなど展示品への接触は控えめに
□レジに並ぶときは、前後にスペース

**娯楽、スポーツ等**
□公園はすいた時間、場所を選ぶ
□筋トレやヨガは、十分に人との間隔をもしくは自宅で動画を活用
□ジョギングは少人数で
□すれ違うときは距離をとるマナー
□予約制を利用してゆったりと
□狭い部屋での長居は無用
□歌や応援は、十分な距離かオンライン

**公共交通機関の利用**
□会話は控えめに
□混んでいる時間帯は避けて
□徒歩や自転車利用も併用する

**食事**
□持ち帰りや出前、デリバリーも
□屋外空間で気持ちよく
□大皿は避けて、料理は個々に
□対面ではなく横並びで座ろう
□料理に集中、おしゃべりは控えめに
□お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

**イベント等への参加**
□接触確認アプリの活用を
□発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

### （4）働き方の新しいスタイル

□テレワークやローテーション勤務　□時差通勤でゆったりと　□ オフィスはひろびろと
□会議はオンライン　□対面での打合せは換気とマスク

※　業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成

- 基本的な感染対策の徹底
  身体的距離の確保
  マスクの着用・咳エチケット
  手洗いなどの手指衛生 など
- 「三つの密」の回避

新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。
日頃の生活の中で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。

**①密閉・②密集・③密接の3条件が重なった場での行動を十分抑制してもらうことが重要**

- 社会経済活動の再開
  ⇒ 業種ごとの感染拡大予防ガイドライン
  内閣官房　新型コロナウイルス感染症対策推進室
  https://corona.go.jp/prevention/pdf/guideline.pdf?20200909

# 新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言解除を踏まえた各種健診等における対応について

2020.4.14. 新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言を踏まえた健康増進事業の実施に係る対応について(事務連絡)

⇒ 各種検診・保健指導等であって集団で実施するものは延期

2020.5.26.新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言解除を踏まえた各種健診等における対応について(事務通知)

⇒ 健康増進法に基づく各種検診・保健指導等の実施について

ア）地域の感染状況や感染拡大防止対策の対応状況を踏まえ実施する

イ）延期等により受診できない者には別に受診機会を確保する

2020.5.26. （情報提供）
健康診査実施機関における新型コロナウイルス感染症対策について

内閣官房：業種別ガイドライン 8.医療サービス

「健康診断実施時における新型コロナウイルス感染症対策について」
https://corona.go.jp/prevention/pdf/guideline.pdf?20200909

# 緊急事態宣言解除後における対策型がん検診の再開にあたっての当協会の対応について

公益財団法人宮城県対がん協会
会　長　久　道　　茂

胃がん対策委員会・大腸がん対策委員会
委員長
（東北大学大学院医学

婦人科検診診断委
委員長
（東北大学災害科学国

乳がん対策委員会
委員長
（東北大学大学院医学

https://miyagi-taigan.or.jp/news0529.pdf

**県・市町村･医師会へ通知**

1. 検診実施を延期すべき受診者について
2. 検診に従事するスタッフについて
3. 検診会場の環境整備（接触・飛沫感染対策）
4. 受診者へのお願い

健康増進事業としての対策型がん検診については、感染拡大　　4月以降、ほぼ全ての市町村で検診実施が延期されており、再開の目途が立っ　　ん。がんは県民の死亡原因の第1位を占めており、宮城県でも毎年6千人あまりの方　　で亡くなっています。がん対策は県民の健康増進のためには欠くべからざる事業であり　　民のがん死亡減少のためにも、検診事業の再開は優先順位の高い社会活動と考えます。当協会といたしましては、新型コロナウイルス感染症対策の基本対処方針に則り、**感染拡大防止を加味したがん検診実施計画**を策定し、**県民が安心してがん検診を受けられる**ような感染予防体制を整備するとともに、今後ともがんになっても命を落とさないですむように早期発見・早期治療のための精度の高いがん検診を推進して参ります。

# 新型コロナウイルス感染拡大防止を加味したがん検診実施計画

**1. 検診実施を延期すべき受診者について**（胃・乳・婦共通）

対策型がん検診は基本的には無症状の住民を対象に実施すべきであり、下記に該当する場合は検診の延期をお願いする場合もあることを**事前に案内**し、検診会場にもその旨を掲示する。下記項目については**問診で聞き取り**を行う。

① 感冒症状（咳、鼻汁・鼻閉、頭痛、関節痛など）や発熱がある方（平熱より高い体温、あるいは体温が37.5°C以上を目安とする）

② 強い倦怠感や息苦しさ・呼吸困難感がある方

③ 明らかな誘因のない味覚・嗅覚異常がある方

④ 明らかな誘因なく４－５日続く下痢、嘔気・嘔吐等の消化器症状がある方

⑤ 新型コロナウイルス感染症患者やその疑いがある患者（上記症状にて医療機関受診中のものを含む）と濃厚接触歴のある方

⑥ 2週間以内に海外の感染拡大地域に渡航歴がある方

**該当する場合は検診実施を延期し、保健所への通知や医療機関の受診を勧める。**

https://miyagi-taigan.or.jp/news0529.pdf

## 2. 検診に従事するスタッフについて（各がん検診共通）

① 受診者に対面する検診スタッフにはマスク装着やアルコール手指消毒の徹底

② 検診に従事するスタッフは毎朝出勤前に検温、発熱があった場合には上長に報告。

③ 上記1-①～⑥に該当するスタッフは検診に従事させない。

④ 飛沫予防が必要な検査の場合(内視鏡など)、ガウン･フェイスシールドを着用する。

## 3. 検診会場の環境整備（胃・乳・婦共通）

① 3つの密にならないように受け入れ人数・受付時間等に十分に配慮する。

② 待合室や検査室での受診者間の身体的距離の確保、換気について配慮する。

③ 高頻度に接触する可能性のある機材 (検査台･検査装置･パソコン･タブレット等)は
アルコールまたは次亜塩素酸を含む消毒液で清拭消毒する。

④ 問診や指導時は対面にならないようにシールドなどを設ける。
できるだけ短時間で済ませること。

## 4. 受診者へのお願い（胃・乳・婦共通）

① マスクの持参・着用

② 検査当日の検温（体調不良の場合は受診を自粛する）

③ 待合での密集・密接を避ける。

④ 消毒・清拭のため検査待ち時間が長くなる場合があることを了解してもらう。



https://miyagi-taigan.or.jp/news0529.pdf

# 受診者への事前配布チラシ：受診票に同封して送付

## 該当する場合は検診の延期をお願いする場合もあることを事前に案内

検診を受診される皆様へ

新型コロナウイルス感染拡大予防のためのお願い

新型コロナウイルス感染拡大予防のため、がん検診を受診される皆様には下記のことを確認いただき受診されますようお願い申し上げます。

① 検診当日の朝、検温をして下さい。

熱がある場合は、検診の日程変更等をお勧めいたします。

② 検診会場では、マスク持参・着用をお願いいたします。

③ 下記の６項目の確認をしていただき、該当する項目がある場合、検診の日程変更等をお願いいたします。

１） 感冒症状・発熱がありませんか

２） 強い倦怠感・息苦しさがありませんか

３） 味覚・嗅覚の異常がありませんか

４） ４-５日続く下痢等の消化器症状がありませんか

２週間以内に

５） 新型コロナウイルス感染者や感染疑いのある者と濃厚接触していませんか

６） 海外への渡航歴はありませんか

感染拡大防止の観点から“３密”にならないよう、決められた日程・受付時間での受診にご協力お願いいたします。なお、検診当日はお一人ずつ検査台を消毒・清拭いたしますので例年より待ち時間が長くなる可能性がありますのでご了承願います。

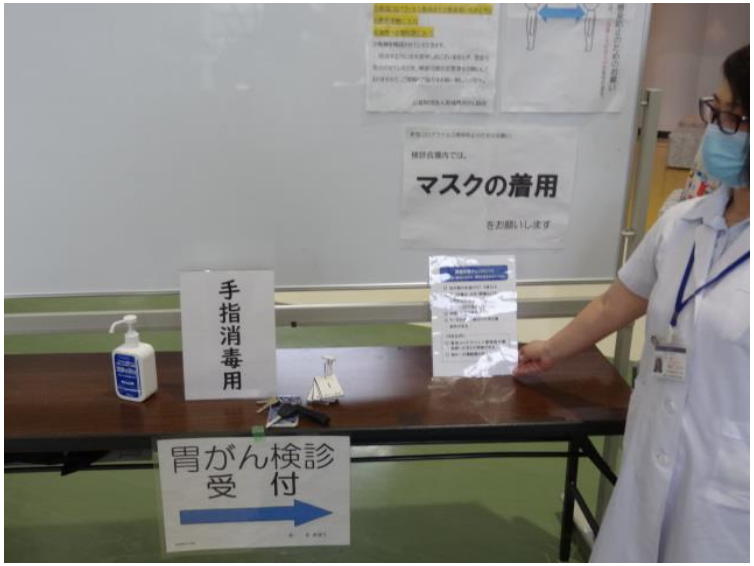
公益財団法人宮城県対がん協会

https://miyagi-taigan.or.jp/news0529.pdf

# 検診会場

会場入口

検温




手指消毒

# 検診会場

受付

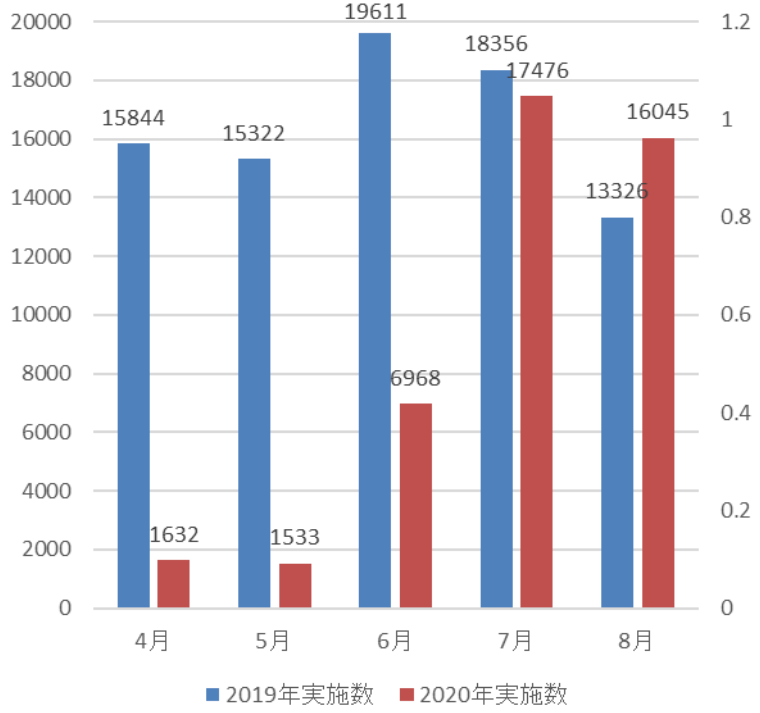
待合

受付中の番号案内

問診

# 各種がん検診の月別実施状況

## 胃X線検診

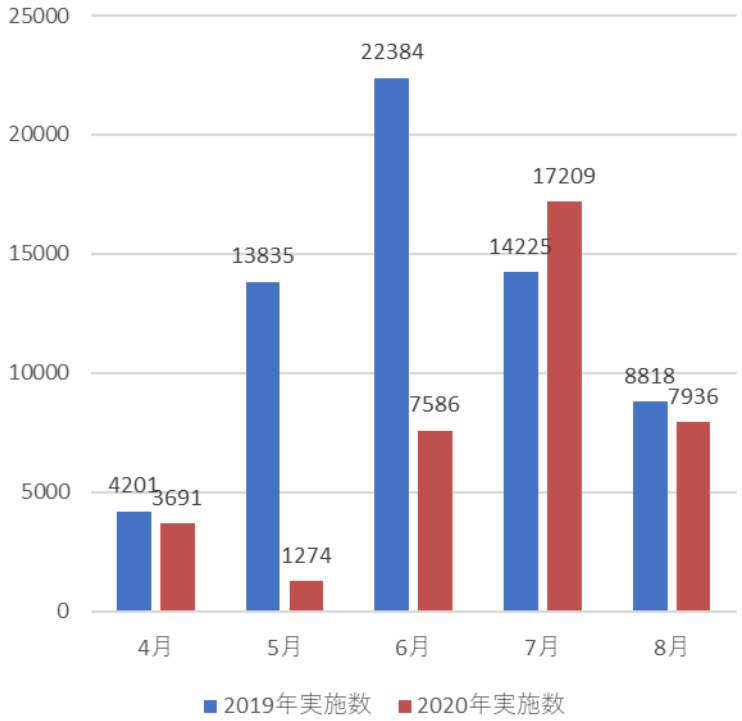



胃X線検診の対前年比：52.9%

2019年度胃X線検診発見がん

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 |
|---|---|---|---|---|
| 34 | 17 | 28 | 31 | 20 |

## 大腸がん検診




大腸がん検診の対前年比：59.4%

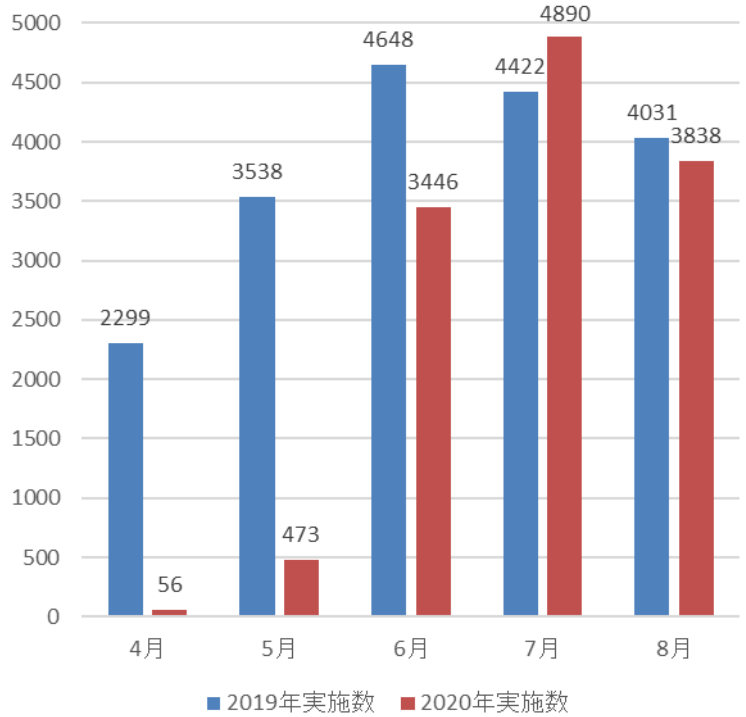
2019年度大腸がん診発見がん

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 |
|---|---|---|---|---|
| 7 | 34 | 64 | 36 | 18 |

**がん検診の延期による検診機会の喪失やがん発見の遅れが課題**

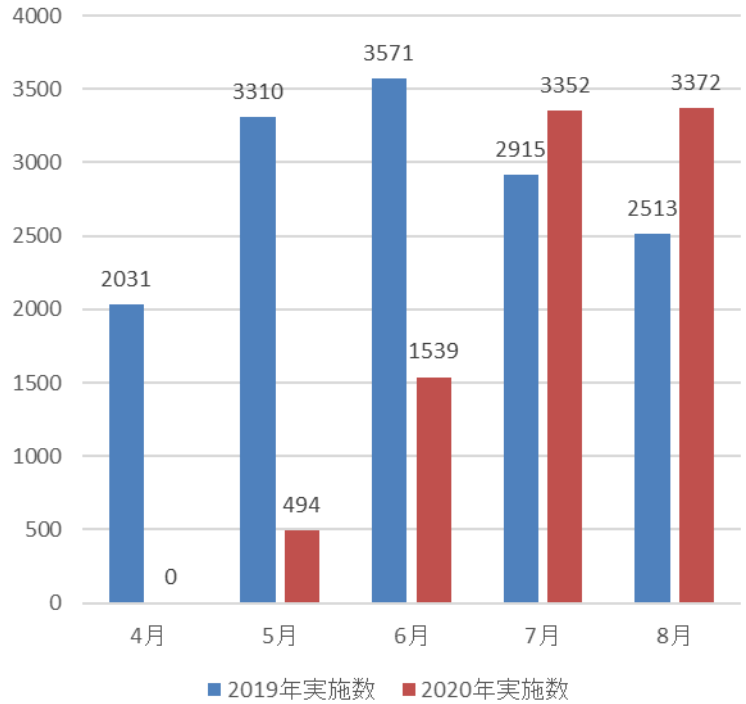
# 各種がん検診の月別実施状況

## 乳がん検診




乳がん検診の対前年比：67.1%

## 子宮頸がん検診



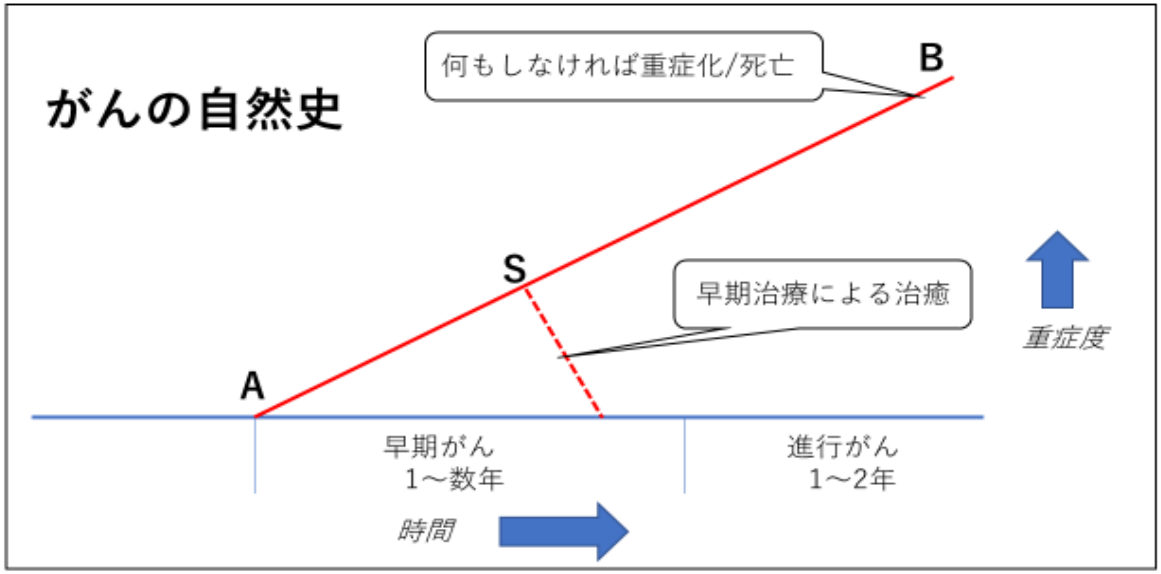

子宮頸がん検診の対前年比：61.1%

### 2019年度乳がん検診発見がん

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 |
|---|---|---|---|---|
| 7 | 19 | 18 | 11 | 10 |

**がん検診の延期による検診機会の喪失やがん発見の遅れが課題**

# がんの自然史とがん検診




ある時(A) にがんが発生します。初めのころは症状もなく経過しますが、**次第に増殖していき(がんの進行)やがて症状が現れ医療の介入がなければ重症化して最悪の場合死**に至ります(B)。この自然史を踏まえて、がんが発生して間もない無症状の早期がんのころ(S)に検査をして、それを治療することによって、この自然史のカーブを基線に戻そうとすること、つまりがんを早期に見つけてその後の重症化ひいては死亡を防ごうというのが**がん検診**なのです

深尾彰　ともしび　2020；151：10-11

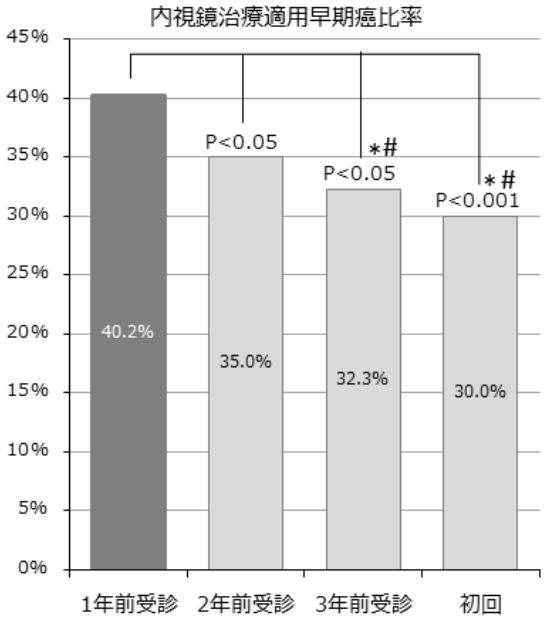
**がん検診の効果が期待できる早期がんの期間が普通1～数年程度あり、その時期に発見されたがんの確実な治療法（大多数は手術）がある。**

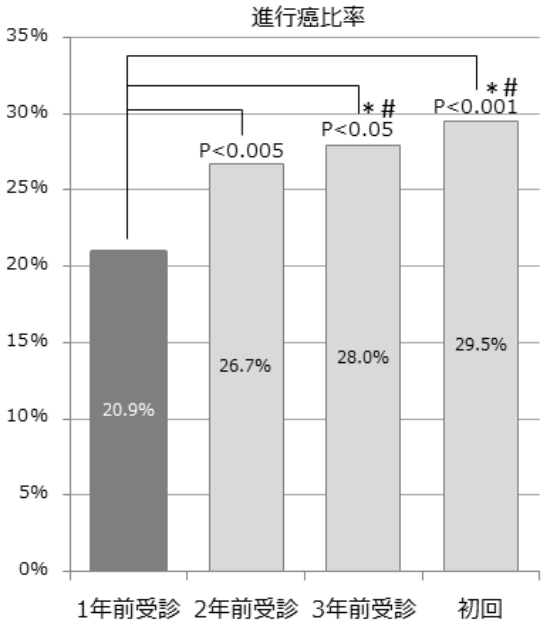
# 胃がん検診の受診間隔が延長した場合の影響

検診受診間隔の定義

| 発見前受診歴 | 1年前 | 2年前 | 3年前 | |
|---|---|---|---|---|
| 1年前受診 | ○ | △ | △ | 1年前に受診歴あり |
| 2年前受診 | × | ○ | △ | 2年前に受診歴あり |
| 3年前受診 | × | × | ○ | 3年前に受診歴あり |
| 初回受診 | × | × | × | “受診歴なし”もしくは “4年間以上受診無し” |

○あり、△あり/なし、×なし



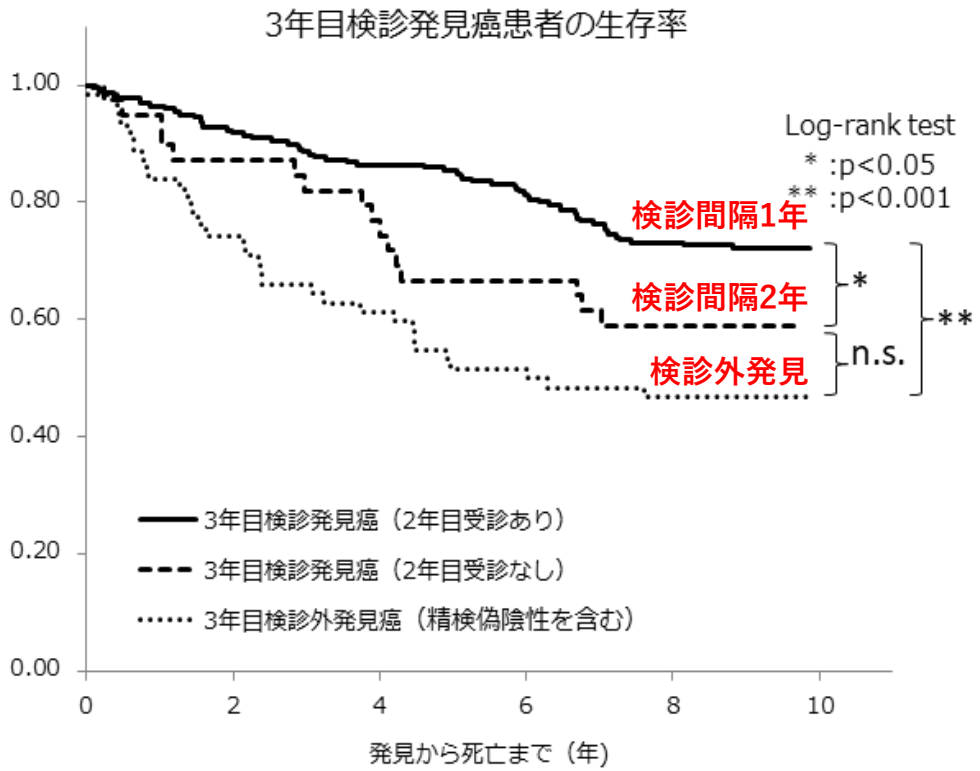

＊：2年前受診 vs 3年前受診、初回受診：not significant
＃：3年前受診 vs 初回受診：not significant

**検診間隔が空いてしまうと発見がんに占める進行がんの割合が増加する**



加藤勝章ら　日本消化器がん検診学会雑誌2018；56：266-80

# 受診間隔延長した場合の発見胃がんの生存率




| 3年目検診受診者の胃がん罹患 | 症例数 | 男：女 | 罹患日年齢 (±S.D.) | 5年生存率（95%CI） |
|---|---|---|---|---|
| 3年目検診発見癌（2年目受診あり） | 226 | 162：64 | 68.9 ± 8.0 | 0.85 ± 0.02 (0.81-0.90) |
| 3年目検診発見癌（2年目受診なし） | 39 | 24：15 | 67.8 ± 9.2 | 0.67 ± 0.08 (0.51-0.81) * |
| 3年目検診外発見癌（精検偽陰性を含む） | 62 | 44：18 | 72.0 ± 7.4 * | 0.52 ± 0.06 (0.39-0.64)** |

* :p<0.05、** :p<0.001

8

**検診間隔が空いてしまうと予後の悪いがんの割合が増加する**

加藤勝章ら　日本消化器がん検診学会雑誌2018；56：266-80

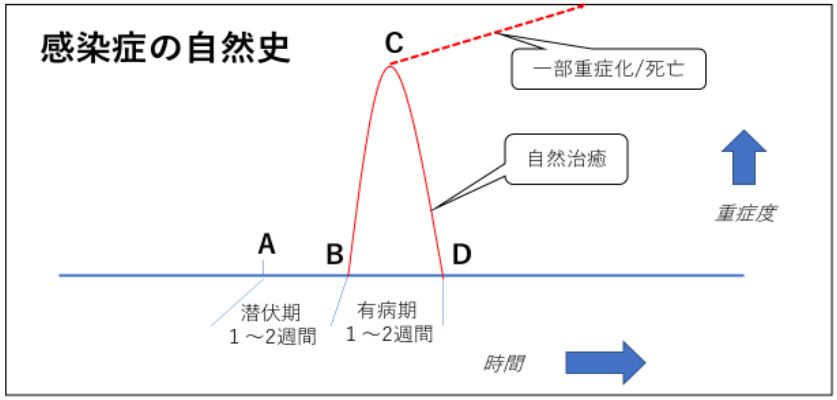
# 緊急事態解除後のがん検診再開の課題

新型コロナウイルス感染症拡大予防

緊急事態宣言 → 行動自粛 → 不要不急の検査の延期

↓ ↓ ↓

解除後 → 新しい生活様式<br>社会経済活動の再開 → ガイドラインに基づく<br>感染対策とがん検診の再開




多くの感染症は免疫機構が働いて自然に治癒する

self-limiting disease

検診で感染するのが怖い

検診受診の自粛

# ポストコロナ時代のがん検診

新型コロナウイルス感染症は一部で重症化するが、
多くは自身の免疫機構で自然治癒する。

一方、多くのがんは放置すれば進行して死に至る。

新型コロナウイルス感染症を”正しく恐れて”
新しい生活様式を実践して感染防止に努め、
がん検診を受診して早期発見に努めましょう。

GOTO Go To TRAVEL

がん検診

ご清聴ありがとうございました。